

令和5年度事業計画書
令和5年度収支予算書兼
資金調達及び設備投資の見込

令和5年3月

公益財団法人武蔵野市国際交流協会

第1 事業方針

昨年2月24日に始まったロシア軍によるウクライナ侵攻から1年が過ぎましたが、いまだに紛争終結の気配は見られません。こうした中でウクライナからの避難民を国内の自治体が受け入れる動きがあり、東京都も東京都つながり創生財団と連携して、ワンストップ相談窓口の開設や住宅支援、都内各区市町村や国際交流関係団体への情報提供を行っています。今のところ武蔵野市内でウクライナ避難民の居住は確認されていませんが、武蔵野市国際交流協会（MIA）は今後必要な支援が発生した場合に備えて、東京都国際交流団体連絡会議において、東京都つながり創生財団及び東京都生活文化スポーツ局との情報交換を随時行っています。

一方、新型コロナウイルスによるMIAの各種事業に対する影響は、オミクロン株対応2価ワクチンの接種など感染症対策が進んだこともあり、コロナ前に近い開催状況に戻りつつありますが、感染者数が依然高い水準にあり、また死亡者数も増加傾向にあることから、イベントや各種講座などは引き続き感染防止対策を行いながら事前申込制を前提として開催していく予定です。

ちなみに、昨年11月10日から同13日にかけて開催した「MIA多文化ウィーク2022～見る、聞く、感じる」では、一昨年同様に事前申込制で開催しましたが、前回の参加者数262名を大きく上回る合計429名の参加者がありました。

さて、令和5年度の事業につきましては、在住外国人の支援に欠かせない日本語コースや子ども学習支援コースなどの日本語学習の支援や多言語による各種相談事業、通訳者の派遣及び翻訳事業などの「在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業」、地域における国際理解の推進やボランティア活動の推進、そして国際交流・国際協力に関する地域団体との連携などの「多文化共生の地域づくりに関する事業」、そして国際交流などに関する広報を目的とした「国際交流及び国際協力の調査研究・広報に関する事業」の3つの分野にわたって事業計画及び予算を組みました。

昨年に引き続き、コロナ禍における雇用情勢の悪化やウクライナ情勢による物価高騰などで日常生活に影響をより受けやすい外国人へのさまざまな情報提供や生活支援、専門家相談などを通じて、多言語とやさしい日本語を活用した支援を行ってまいります。

本年度は外国人生活者の多様な現状や課題を理解し、交流の担い手となる日本語交流員の養成講座を行い、また「留学生」むさしのファミリープログラムにおいては、来日する留学生の数が昨年秋頃から再び増加傾向になりつつあることから、ファミリーの参加者募集や会員の獲得にも力を入れてまいります。

令和4年度もたいへん好評だった「多文化体験ウィーク」は、外国人による地域への参加と多文化の地域への啓発をより一層推進するため、内容を充実させて実施すると共に広報活動にも力を入れる予定です。

なお、武蔵野市が本年3月公表の「武蔵野市多文化共生推進プラン」の内容を参考に、武蔵野市との連携を念頭に当協会において「MIA活動指針（仮称）」を令和5年度に策定する予定です。以下、令和5年度事業計画について記載します。

第2 事業計画

総事業費 23,857千円(人件費、法人会計を除く。共通経費 13,644千円含む。)
 [在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業]

事業名	内容	備考
[1]日本語学習の支援 1,935千円		
1. 日本語コース 1,360千円	(1)外国人が地域で暮らすために必要な日本語学習をボランティア(日本語交流員)が支援する。習熟度及び目的別にグループに分けて行う。コース参加者は、マンツーマン活動にも参加できる。 (2)外国人小中学生のための学習支援コース(こどもコース) 教科学習(宿題サポート)、日本語学習、多様な文化を持つ子どもたちの居場所づくり等を目的とする。 3学期は4月からの新1年生も受け入れて就学準備を支援する	
2. 日本語サロン 30千円	中級レベル以上の外国人向けに、日本語交流員の自主企画事業としてテーマ(子育て支援を予定)を設定し、年2回程度実施する。	
3. 日本語スピーチ大会 80千円	外国人市民の意見発表の場としてまた市民の異文化理解の場として日本語交流員の自主企画事業で開催する。	ZOOM 配信も行う
4. 日本語交流員ステップアップ研修・養成講座 288千円	日本語交流員として日本語コースの運営に関わるうえで必要な知識を学ぶため日本語交流員養成講座と既活動交流員のステップアップ研修を隔年実施。	今年度は養成講座を開催予定
5. 外国人の親子支援検討委員会 177千円	多言語高校進学ガイダンス、外国人児童生徒発表会ほかを実施する。 多言語による子育て支援強化のための調査・検討を行い実施する。	

事業名	内容	備考
<p>[2]多言語による各種相談 <u>469 千円</u></p> <p>6. 外国人のための無料専門家相談会 136 千円</p> <p>7. 予約制専門家相談 171 千円</p> <p>8. 語学ボランティア研修 168 千円</p>	<p>語学ボランティアと専門家による法律、労働、心理などの相談会を実施。都内全域の「都内リレー専門家相談会」の一環として開催する。</p> <p>月1回の定例予約制外国人相談。 (法律と心理が基本)</p> <p>通訳案件の複雑化や派遣先での通訳に対応するため、基礎講座、ステップアップ講座などを実施する。</p>	
<p>[3] 留学生の社会参加の促進 <u>331 千円</u></p> <p>9. 「留学生」むさしのファミリープログラム 331 千円</p> <p>10. 留学生の社会参加に関する講座・研修等</p>	<p>近隣の大学と連携し、留学生と地域の家庭がホームビジットを基本に1年間交流するプログラムを実施。留学生の来日も増加しはじめたため、気軽に参加できる交流会などを企画してファミリーや留学生の参加者の増加につなげる。</p> <p>参加者向けに講座、懇談会などを適宜実施する。</p>	<p>令和5年度予算計上なし</p>
<p>[4] 多言語による生活情報の提供 <u>3,303 千円</u></p> <p>11. 多言語相談・情報提供窓口 186 千円</p> <p>12. MIA Calendar (多言語情報紙) 964 千円</p>	<p>子育て情報、防災知識、市内の催し物などの生活情報を、コミュニティラジオ(番組)、情報紙、協会ホームページなどの媒体により多言語で提供。語学ボランティアが多言語で相談の受付や情報提供を行う。</p> <p>外国人向け情報紙。日本語、英語、中国語、スペイン語の4言語で作成。外国人会員、関係団体、市各施設の窓口に配布 年4回発行。</p>	

事業名	内容	備考
13. むさしのFMラジオ番組 2,049千円	「NEWS from MIA」月～金の5分番組（4言語）、「MIA プラザ」月1回土曜日に30分外国人ゲストのトーク番組を放送する。	
14. 外国人のための防災事業 104千円	外国人のための防災委員会を中心に、各イベントやむさしの防災フェスタ等で防災に関する啓発活動を実施。また、武蔵野市と締結した「災害時における外国人支援活動に関する協定書」に基づき市防災ボランティア訓練などに参加し、連携・協力を促進。また、外国人住民が災害弱者とならないよう、どのような支援が可能か、環境づくりができるか、模索・検討しながら事業を行う。	
[5] 通訳者の派遣及び翻訳 763千円		
15. 通訳者の派遣 549千円	教育・行政窓口・福祉等に関する通訳派遣依頼に対して語学ボランティアに個別に依頼し、可能な範囲での通訳活動を実施する。	
16. 翻訳 214千円	教育・行政窓口・福祉等に関する翻訳依頼に対して語学ボランティアに個別に依頼し、可能な範囲での翻訳活動を実施する。	

〔多文化共生の地域づくりに関する事業〕

事業名	内容	備考
[6] 地域における国際理解の推進 879千円		
17. 市民国際交流・協力・多文化共生推進事業 40千円	国際理解、国際平和、多様な文化などについて市民に理解を深めてもらえるように市民講座を開催する。	
18. 教員ワークショップ	(平成29年度から休止)	
19. 青年ワークショップ 92千円	地域の大学などと連携し、国際理解の観点で青年が考え、学び合う場を提供し、地域においてグローバル人材育成や多文化共生の理解促進に努める。	

事業名	内容	備考
20. むさしの国際交流まつり 747 千円	令和3年度から「むさしの国際交流まつり」の代替えとして、日頃のMIAの活動の成果を紹介するとともに、外国人・会員ボランティアが参画、創意工夫したプログラムによる「多文化体験ウィーク」を今年度は広報活動を強化して実施する。	
<p>[7] 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援 810 千円</p> <p>21. ボランティア活動説明会 24 千円</p> <p>22. ボランティア向け各種研修、講座 13 千円</p> <p>23. ボランティア自主事業推進委員会 35 千円</p> <p>24. 情報提供グループ</p>	<p>(1) ボランティア活動説明会 (下記(2)との隔年開催) 会員、一般市民を対象にMIAのボランティア活動への参加を呼びかけるため各種説明会を実施</p> <p>(2) 外国人ボランティア交流会 (上記(1)との隔年開催) MIAのボランティア活動への参加を外国人に呼びかけるため説明会と外国人同士の交流会を実施する。</p> <p>ボランティアの活動の支援として様々な研修、講座を開催する。</p> <p>会員の自主的な活動を推進するため各自主事業グループ代表、会員の推薦する委員などによって構成される委員会であり、会員から申請される新規事業の検討・承認・推進やボランティア間の情報交換を行う。</p> <p>(今後有効な活動について検討することで平成23年度で活動を一旦終了)</p>	<p>令和4年度に(2)の小規模な外国人向けの地域参画ボランティア活動説明会を実施したが令和5年度は(1)のボランティア募集のための説明会を実施する</p>

事業名	内容	備考
25. イベントグループ	外国人会員企画事業であるシリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」の準備、実施のためのサポートを中心に活動する。	令和5年度 予算計上なし
26. FMラジオ番組運営委員会（多言語ラジオ番組） 71千円	むさしのFMラジオ番組における「NEWS from MIA（多言語）」及び「MIA プラザ」の企画・運営。	
27. 情報紙編集委員会 12千円	「MIA Volunteer News」などの再開を検討する。	
28. 外国人ボランティア支援グループ	MIA 登録外国人がボランティアとして自国の文化を紹介する際（外国人会員自主企画事業など）の実務面のサポートを行う。	令和5年度 予算計上なし
29. こども国際交流クラブ 186千円	3歳からのこどもと親対象の国際理解プログラム。	
30. 地域への外国人等派遣 30千円	地域の小中学校などへ外国人を派遣。直接、児童・生徒などと交流し、外国の衣食住・多様な言語・文化などを紹介する。	
31. シリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」 25千円	イベントグループのサポートで外国人会員が出身の国や文化を紹介する。	
32. 外国語会話交流教室 270千円	外国人会員が8回を1コースとして自国の言語や文化を紹介しながら市民と交流する。	
33. 外国人会員企画事業 144千円	外国人会員の自主企画として料理、音楽などの文化・特技を幅広く紹介する。	

事業名	内容	備考
[8] 国際交流及び国際協力に関する 地域団体との連携 <u>290 千円</u> 34. 地域連携・共催 90 千円 35. 他団体との協働・助成・後援 200 千円	地域における国際交流及び多文化共生の推進、地域活性化のため地域連携を推進。地域イベントへ出店及び参加。また、地域の大学などに外国人会員、協会ボランティア、協会職員などを講師として派遣し、当協会の活動や多文化共生について理解促進に努める。 市内各団体、企業、学校、NPO、他国際交流協会、都内相談ネットワークなどと連携協働。事業単位では、助成・後援を随時行う。また、協会の会議室、印刷機、団体紹介等の便宜を図る。	

〔国際交流及び国際協力の調査研究及び広報に関する事業〕

事業名	概要	備考
[9] 国際交流及び国際協力に関する調査研究 36. 国際交流・協力に関する調査研究	国際交流・協力に関する調査研究をアンケート、資料収集、専門家からの意見聴取などにより適宜実施する。	令和5年度予算計上なし
[10] 国際交流及び国際協力に関する広報 <u>1,427 千円</u> 37. 機関紙「むさしの FRIENDs」の発行 1,067 千円 38. MIA ホームページによる発信 360 千円	協会の活動方針、在住外国人が抱える問題などをテーマにした特集記事、活動報告、及び各種イベントの案内などを掲載する機関紙を年4回、各回1,400部発行。機関紙は会員その他、地域公共施設などに無料で配布する。 イベント情報やボランティア募集情報を随時発信し、協会の効果的な広報を行う。パソコンに加え、スマートフォンにも対応するなど、活用しやすい情報ツールとなるよう努める。	

収 支 予 算 書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

科 目		令和5年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益		0	600	600	
	基本財産受取利息	0	600	600	定期預金運用
特定資産運用益		200	100	300	
	特定資産運用利息	200	100	300	退職給付引当資産利息
受取会費		1,260,000		1,260,000	
	個人会員受取会費	1,000,000	0	1,000,000	1年2.5千円 3年会員6千円
	家族会員受取会費	100,000	0	100,000	1年3.5千円 3年会員9千円
	団体会員受取会費	160,000	0	160,000	1口1.1万円
事業収益		2,566,000		2,566,000	
	日本語学習の支援	915,000	0	915,000	日本語コース参加費等
	通訳者の派遣及び翻訳	1,000,000	0	1,000,000	通訳派遣料及び翻訳料
	地域における国際理解の推進	50,000	0	50,000	青年WS、多文化体験ウィーク等
	国際交流及び協力に関するボランティア活動の支援	307,000	0	307,000	外国人会員企画事業等
	国際交流及び協力に関する地域団体連携	150,000	0	150,000	地域団体への講師派遣等
	国際交流及び協力に関する広報	144,000	0	144,000	バナー広告料
受取補助金等		59,010,000	15,504,000	74,514,000	
	市受取補助金	59,000,000	15,500,000	74,500,000	武蔵野市運営費補助金
	その他補助金	10,000	4,000	14,000	勤労者互助会健康診断助成金
受取寄付金		14,000	0	14,000	
	受取寄付金	14,000	0	14,000	会員寄付等
雑収益		9,800	300	10,100	
	受取利息	300	300	600	普通預金利息
	雑収益	9,500	0	9,500	複写機使用負担金等
経常収益 計		62,860,000	15,505,000	78,365,000	
(2) 経常費用					
事業費		65,585,000		65,585,000	協会の事業に要する経費
	給料手当	32,042,000		32,042,000	常勤職員6名
	通勤費	694,000		694,000	同上
	福利厚生費	5,502,000		5,502,000	同上
	退職給付費用	3,490,000		3,490,000	常勤職員3名
	会議費	86,000		86,000	委員会、反省会費用等
	旅費交通費	1,567,000		1,567,000	出張旅費、ボランティア交通費等
	通信運搬費	786,000		786,000	携帯電話通話料、郵便料金、ZOOMアカウント料金等
	消耗品費	767,000		767,000	事務用品、材料費等
	筆耕翻訳料	480,000		480,000	MIA Calendar 翻訳料等
	印刷製本費	1,486,000		1,486,000	機関紙印刷等
	賃借料	12,411,000		12,411,000	事務所賃借料、イベント用機器賃借料
	広告料	2,058,000		2,058,000	むさしのFM番組放送料
	保険料	135,000		135,000	ボランティア、イベント、事務所保険等
	支払手数料	60,000		60,000	振込手数料等
	諸謝金	2,824,000		2,824,000	研修、講座の講師、専門家、通訳派遣・翻訳の謝金等
	支払助成金	200,000		200,000	地域の国際交流事業助成等
	委託費	997,000		997,000	複写機使用料等

(単位：円)

科 目		令和5年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
	管理費		17,734,000	17,734,000	協会の管理に要する経費
	役員報酬		6,098,000	6,098,000	理事長, 理事, 評議員, 監事, 報酬, 監査報酬等
	給与手当		4,340,000	4,340,000	事務局長給与等
	通勤費		282,000	282,000	理事長・事務局長 通勤費
	福利厚生費		1,656,000	1,656,000	理事長・事務局長 社会保険料等
	退職給付費用		350,000	350,000	理事長退職金積立
	交際費		30,000	30,000	地域団体会合費等
	会議費		10,000	10,000	理事会、評議員会等の費用
	旅費交通費		20,000	20,000	理事長・役員 出張旅費
	通信運搬費		352,000	352,000	電話料金、郵送料等
	消耗什器備品費		200,000	200,000	パソコン・事務機器、什器購入費
	消耗品費		140,000	140,000	事務用品等
	図書・研修費		140,000	140,000	研修、新聞、雑誌の購読料、書籍代等
	修繕費		150,000	150,000	事務所、事務機器の修繕等
	印刷製本費		30,000	30,000	挨拶状等印刷
	光熱水料費		360,000	360,000	電気使用料等
	賃借料		1,746,000	1,746,000	事務用機器リース料
	事務所管理費		924,000	924,000	事務所管理・清掃費等
	支払手数料		30,000	30,000	振込手数料等
	租税公課		20,000	20,000	登記料、印紙代等
	負担金		60,000	60,000	負担金、年会費等
	諸謝金		10,000	10,000	パソコン・システム関連謝金等
	委託費		786,000	786,000	給与・会計ソフトサポート、会計顧問料、HP保守等
	経常費用 計	65,585,000	17,734,000	83,319,000	
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,725,000	▲ 2,229,000	▲ 4,954,000	
	基本財産評価損益等	0	0	0	
	特定資産評価損益等	0	0	0	
	評価損益等計	0	0	0	
	当期経常増減額	▲ 2,725,000	▲ 2,229,000	▲ 4,954,000	
	2. 経常外増減の部				
	(1) 経常外収益				
	経常外収益計	0	0	0	
	(2) 経常外費用				
	経常外費用計	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	他会計振替額	0	0		
	当期一般正味財産増減額	▲ 2,725,000	▲ 2,229,000	▲ 4,954,000	
	一般正味財産期首残高	2,725,000	7,600,000	10,325,000	
	一般正味財産期末残高	0	5,371,000	5,371,000	
	II 指定正味財産増減の部				
	受取補助金等				
	市受取補助金	0	0	0	
	受取寄付金				
	受取寄付金	0	0	0	
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000	法人基本財産
	指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000	
	III 正味財産期末残高	0	8,371,000	8,371,000	

資金調達及び設備投資の見込について

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定	なし
--------	----

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定	なし
---------	----